

## 16 介護保険制度および介護支援専門員の理解を深める試み — 学生のキャリアデザインの一助とするために —

本間和代

明倫短期大学 歯科衛生士学科

keywords : 介護保険制度, 介護支援専門員, キャリアデザイン

### はじめに

昨今, わが国における若者の職業選択も多様化し, 長年培われてきた終身雇用制度も崩壊しつつあることから, 高等教育機関では在学中にキャリアデザインの能力を身につけさせることが求められるようになった。

歯科衛生士においても活動領域は拡大され, 保健・医療・福祉や歯科企業の様々な分野で活動できるようになった。そこで, 将来にむけてのキャリアビジョン・キャリアプランの一助とするため, 本学に併設されている居宅介護支援センターを活用し, 介護保険制度および歯科衛生士を基礎資格とする介護支援専門員の業務を理解する取り組みを行った。

### 対象および方法

対象：平成28・29年度にM短期大学歯科衛生士学科に在籍し, 学内で臨地・臨床実習を行った40名の学生である。M短期大学の実習期間中に実施した。

方法：M短期大学臨床実習中に, 介護保険制度および介護支援専門員の役割について講義し, 居宅介護支援センターにおいて実務見学実習を行い, その後, アンケートを実施した。

内容：①介護支援専門員の業務・資格取得要件の理解, ②介護支援専門員への興味・将来の展望・重要性, ③介護支援専門員のイメージ・業務の難易度, ④歯科衛生士の専門性を活かした介護支援への有効性, 感想等である。なお, 対象者に研究の目的・方法他について事前に説明し, 了解を得られた40名に実施した。

### 結果および考察

回答は, 5 (よく理解した) ~ 1 : (理解しなかった) の5段階と多項目からの選択式で行った。

#### 1. 介護支援専門員の業務・資格取得要件の理解

介護支援専門員の業務は4・5を合わせ52.5%, 資格取得の要件は55%で, 約半数の者は理解したが理解が出来なかった者がいたことは, 説明時間の不足と専門用語の理解が容易でなかったためと思われる。

#### 2. 介護支援専門員への興味・将来の展望・重要性

介護支援専門員に興味を示した者は30%, どちらとも言えない者は52.5%, 将来, 介護支援専門員の仕事をやってみたいと思った者は23.7%, どちらとも言えない者が52.6%であった。しかし, 超高齢社会にあって, 介護支援専門員は重要な職業であると, 92.3%の者が回答している。大事な職業であると認識はするものの, 将来, 実際に自身がやれるかどうかは判断できない時期であることが伺える。

#### 3. 介護支援専門員のイメージ・業務の難易度

職業イメージとしては, 遣り甲斐がある, 難しそう, 若い人よりは年配者に向いている, パソコン技術が必要, 歯科衛生士に向いている, などが挙げられ, 業務の難易度では, 多い順にケアプランの作成, 認定調査, カンファレンスが挙げられた。

#### 4. 歯科衛生士の専門性を活かした介護支援の有効性

有効性は, 各調査時の口腔内の問題点の抽出, 要介護者や家族への口腔ケアのアドバイス, 要治療者への対応などが多く挙げられた。

取り組みについて, 77.8%の者が将来に向けて有効であると回答した。知識をもつことの意義は大きい。

### まとめ

将来に向けてのキャリアデザイン・キャリアプランの一助とすることを目的とした, 介護保険制度・介護支援専門員の理解を深める取り組みは, 近い将来, 超高齢社会に働く歯科衛生士として, 活動領域の選択肢を拡大するのに役立ったと思われる。

本研究に関して開示すべき利益相反状態はない。